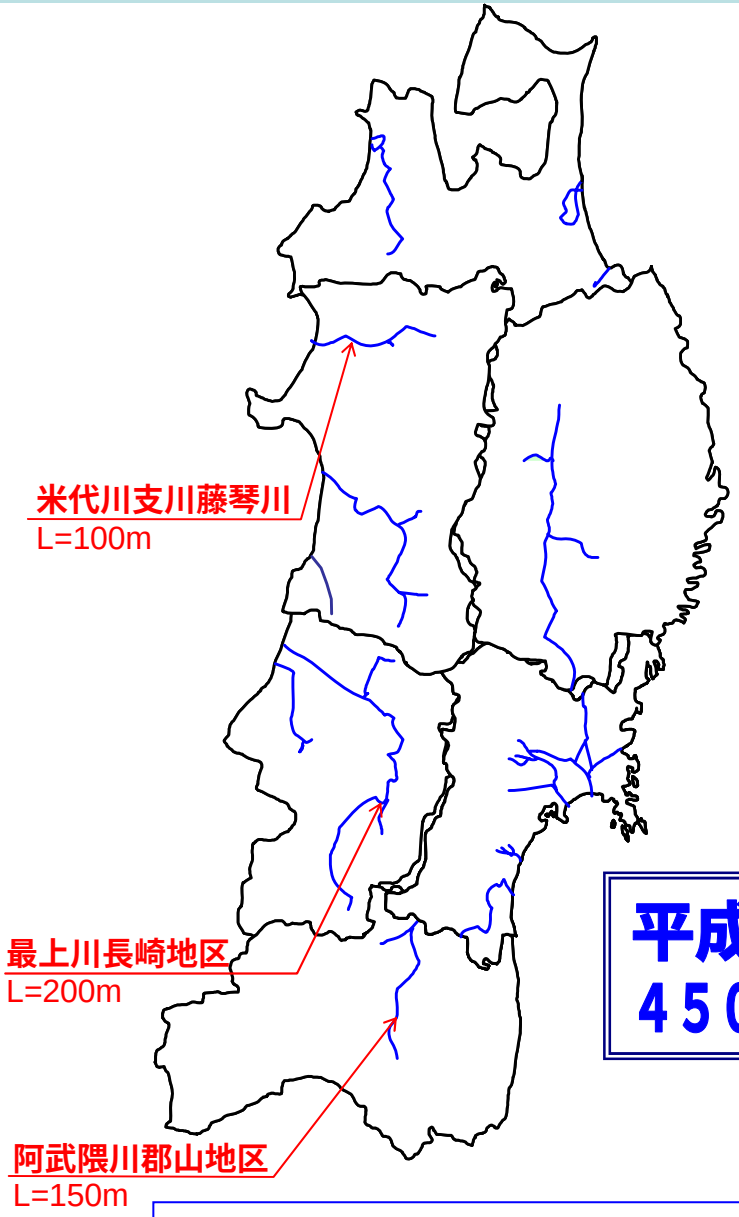
平成１９年度堤防質的整備対策実施箇所について



No	水系名	河川名	地区名	要対策延長(m)	H19対策延長(m)
1	阿武隈川	阿武隈川上流	五十沢	300	
2	阿武隈川	阿武隈川上流	郡山	150	150
3	鳴瀬川	鳴瀬川	木間塚	300	
4	鳴瀬川	吉田川	鎌巻	450	
5	北上川	北上川下流	平	150	
6	北上川	北上川下流	橋浦	150	
7	北上川	江合川	福沼	150	
8	北上川	北上川上流	二渡	500	
9	米代川	米代川	朴瀬	200	
10	米代川	米代川	今泉	300	
11	米代川	米代川	今泉	400	
12	米代川	藤琴川	藤琴川	100	100
13	子吉川	子吉川	岡本	470	
14	最上川	最上川上流	谷地	250	
15	最上川	最上川上流	長崎	200	200
合計				4,070	450

H19対策実施箇所

平成１９年度は４，０７０ｍの内、上記３箇所の４５０ｍで質的整備を実施します。

各河川の詳細情報についてはこちら
http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/forefront/syousaitenken/

洪水時に破堤等の危険性が高い堤防について

東北地整の堤防詳細点検の進捗率は６７％（H19年3月時点）ですが、要対策区間は３３９kmにも及ぶため、今後の堤防の質的整備については「洪水時に破堤等の危険性が高いと判断される堤防」から実施していきます。

①堤防の被災形態と水防活動の対応可否

危険度	被災形態	最も危険な時の外水位	脅威	備考
大↑↓小	堤防裏法すべり	上昇中～ピーク時	大	水防活動困難 短期復旧困難
	パイピング	上昇中～ピーク時	中	水防活動で対処可能
	堤防表法すべり	水位低下時	小	短期復旧可能

- 洪水時の被災形態により水防活動の難易度が違います。
- 上記表を踏まえ、裏法すべりの発生が被災形態上最も危険であり脅威となる、裏法すべりの発生が予想される堤防について優先的に質的整備を実施します。

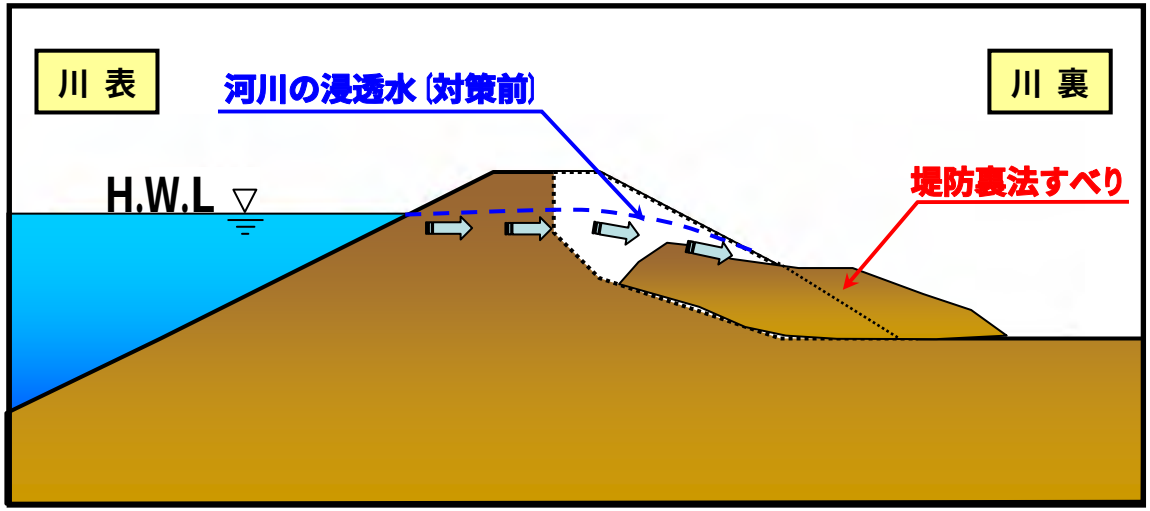
②過去の洪水で被災履歴がある堤防

- 過去の洪水で何らかの被災履歴がある堤防は、弱点箇所であるため優先的に実施します。

①、②により堤防裏法すべりの安全度が特に低く、かつ過去の洪水で被災履歴がある堤防については「洪水時に破堤等の危険性が高いと判断」し優先的に質的整備を実施していきます。

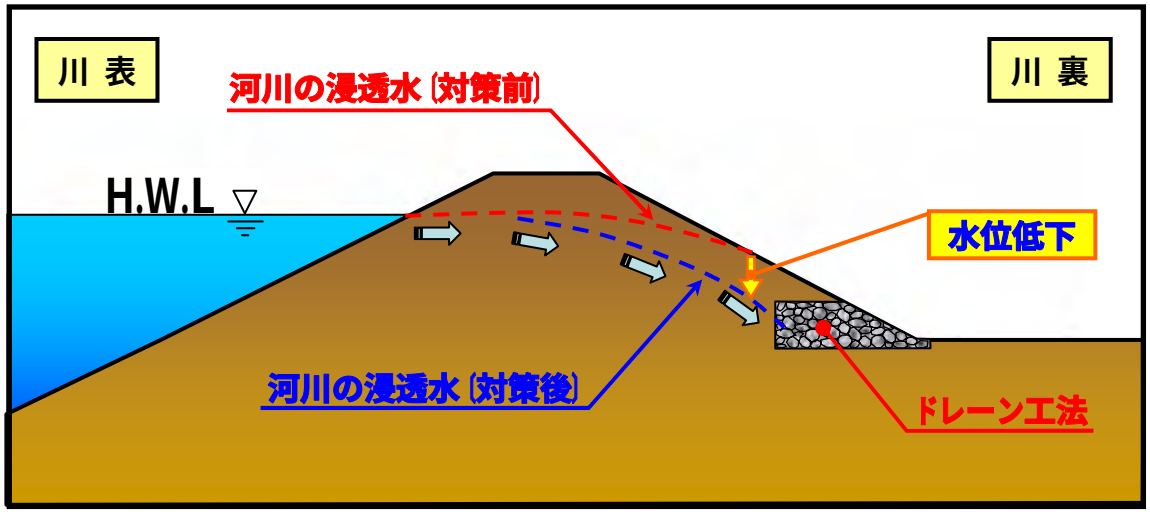
堤防裏法すべりへの対策工法について

◆対策前◆



堤防の土質等が悪いことにより河川の浸透水が川裏側の法面から漏れると「裏法すべり」が発生する危険性が高くなります。

◆対策後◆

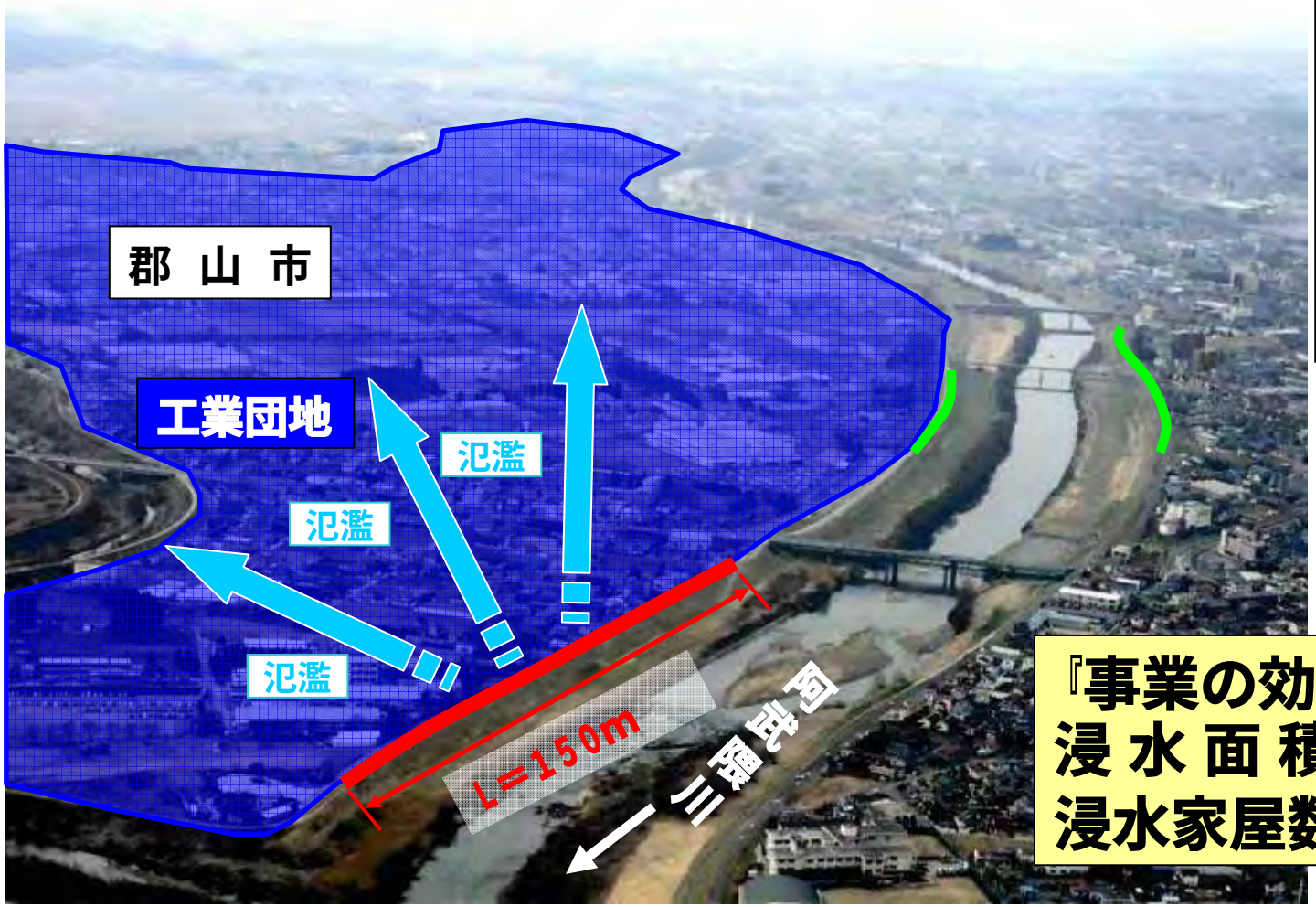


川裏に「ドレーン工」を対策し河川の浸透水が川裏側の法面から漏れなくすることにより「裏法すべり」の発生を抑止します。

H19対策実施箇所　阿武隈川　郡山地区（福島県郡山市）

『事業の必要性』
　阿武隈川上流郡山地区において堤防の詳細点検を実施した結果、堤防の安全性が確保されていないことがわかり、堤防が壊れる恐れがあることから、堤防の質的整備が必要となっています。
背後地は工業団地となっていることから、緊急的な対応が必要です。

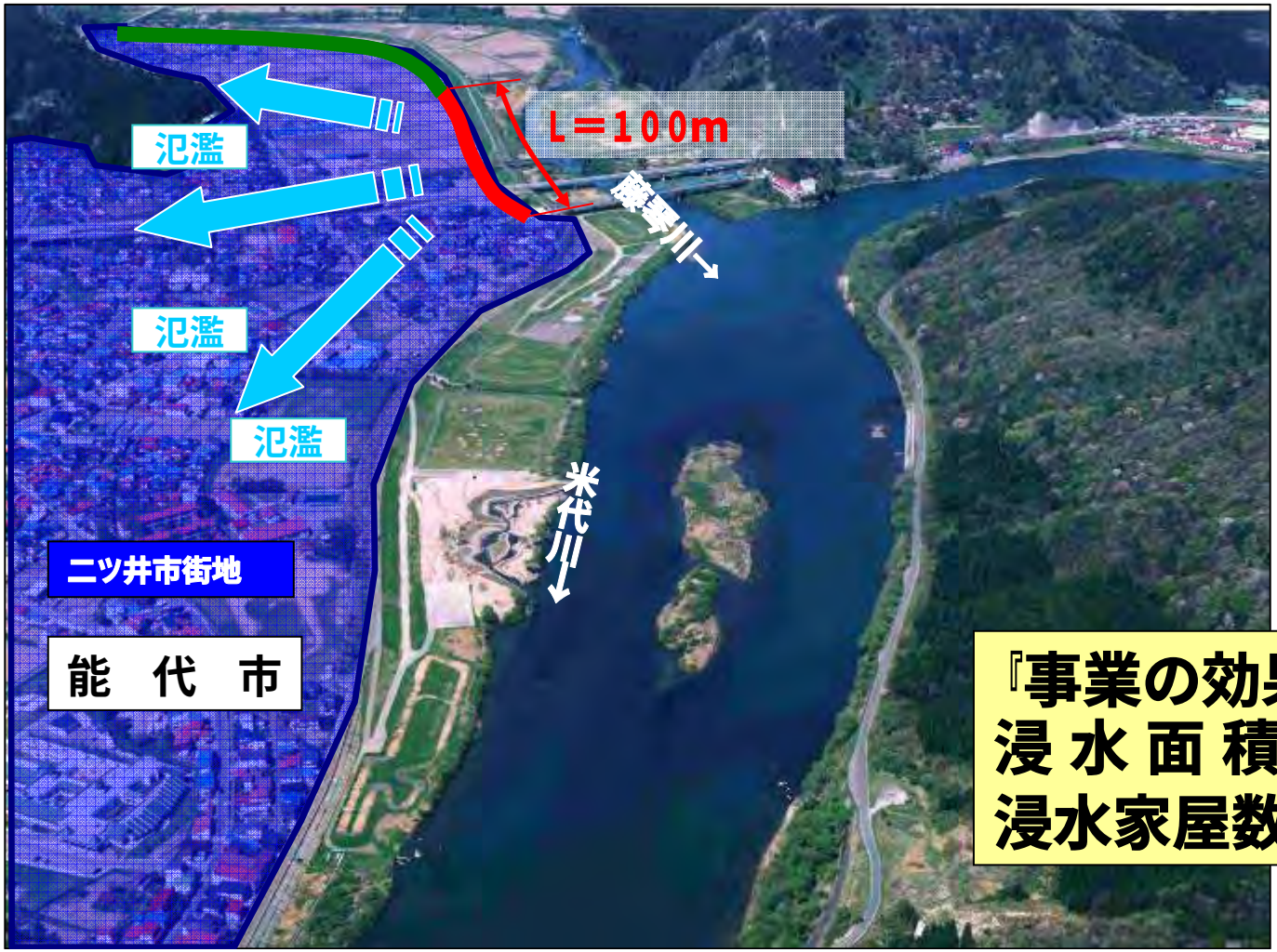
位 置 図

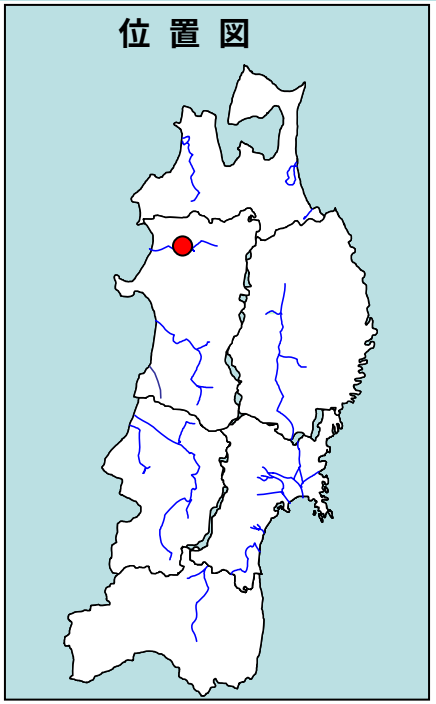


『事業の効果』
浸 水 面 積 ：約450ha
浸水家屋数：約4，200戸

H19対策実施箇所　米代川支川藤琴川（秋田県能代市）

『事業の必要性』
　米代川の中流域に位置する能代市二ッ井地区において堤防の詳細点検を実施した結果、堤防の安全性が確保されていないことがわかり、堤防が壊れる恐れがあることから、堤防の質的整備が必要となっています。
背後地は二ッ井市街地となっていることから緊急的な対応が必要です。



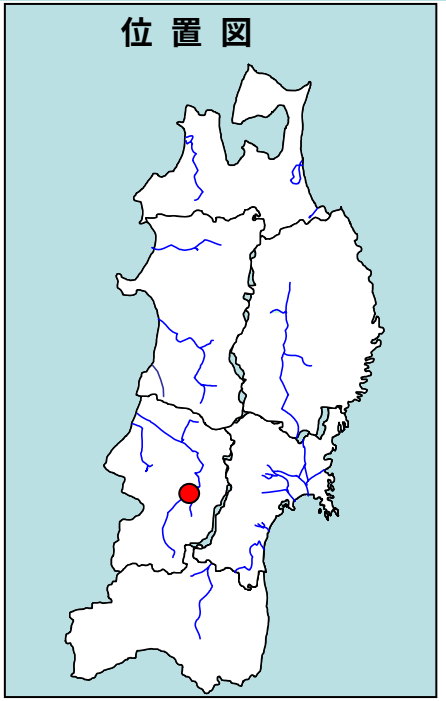


『事業の効果』
浸 水 面 積：約５４０ha
浸水家屋数：約５，０７６戸

H19対策実施箇所　最上川　長崎地区（山形県中山町）

『事業の必要性』
　最上川長崎地区において堤防の詳細点検を実施した結果、堤防の安全性が確保されていないことがわかり、堤防が壊れる恐れがあることから、堤防の質的整備が必要となっています。
背後地には中山町役場をはじめとした市街地となっており緊急的な対応が必要です。





『事業の効果』
浸水面積：約430ha
浸水家屋数：約1，200戸

堤防詳細点検の概要

～点検の状況～

・東北地方整備局では、平成１９年3月末時点で点検対象堤防延長（約1，２９０km）のうち、６７％（約８６２km）が点検済み。

・点検実施済みの内、約３９％（約３３２km）の堤防が浸透に対する安全性不足

～点検の方針～

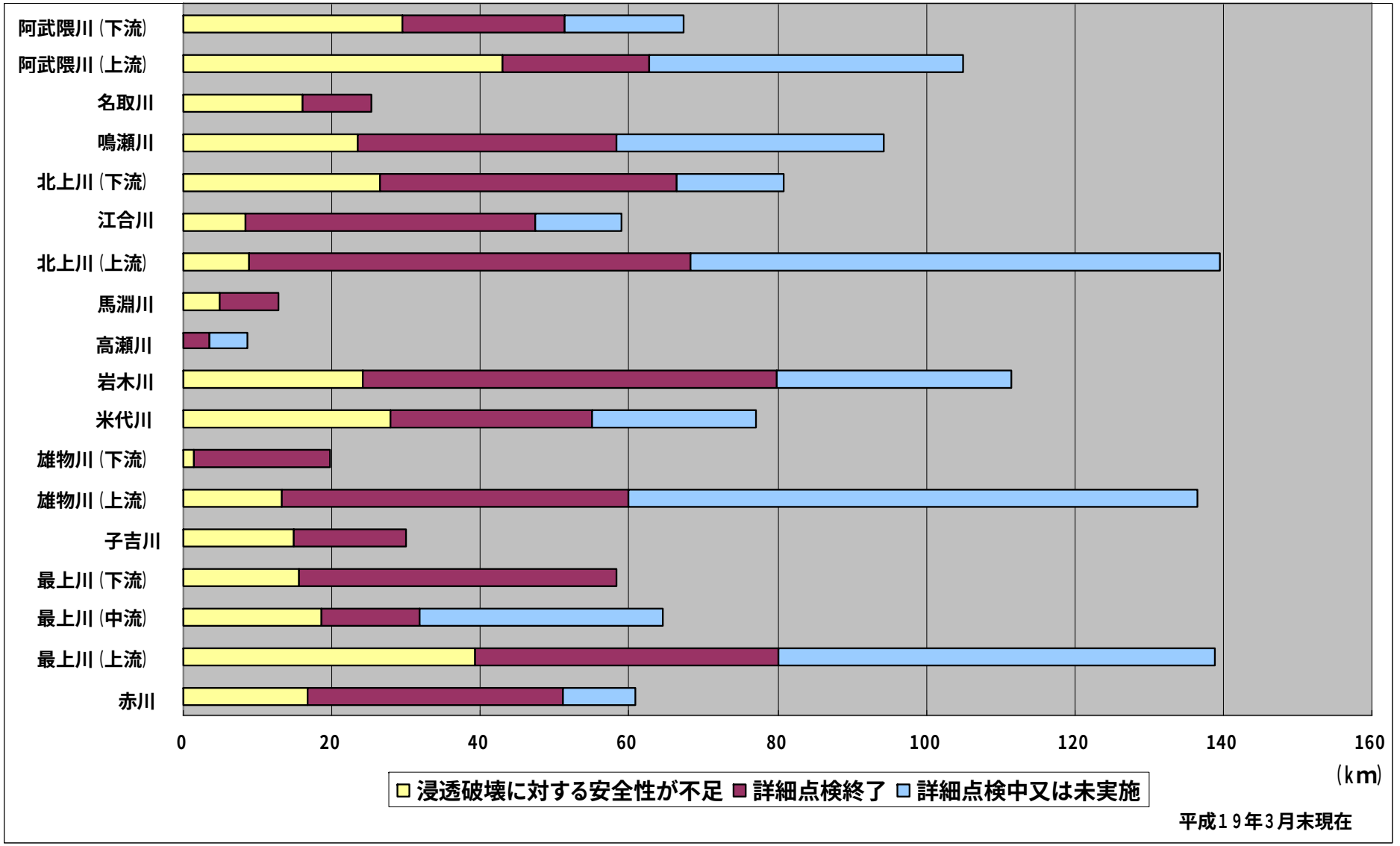
・平成２１年度中に残り（約４２８km）の堤防について点検を終了。

・浸透に対する安全性が不足している箇所については、対策が実施されるまでの間に着実な水防活動の実施を図るため、水防活動団体等と情報を共有していく。

河川別堤防詳細点検結果（平成18年度末）

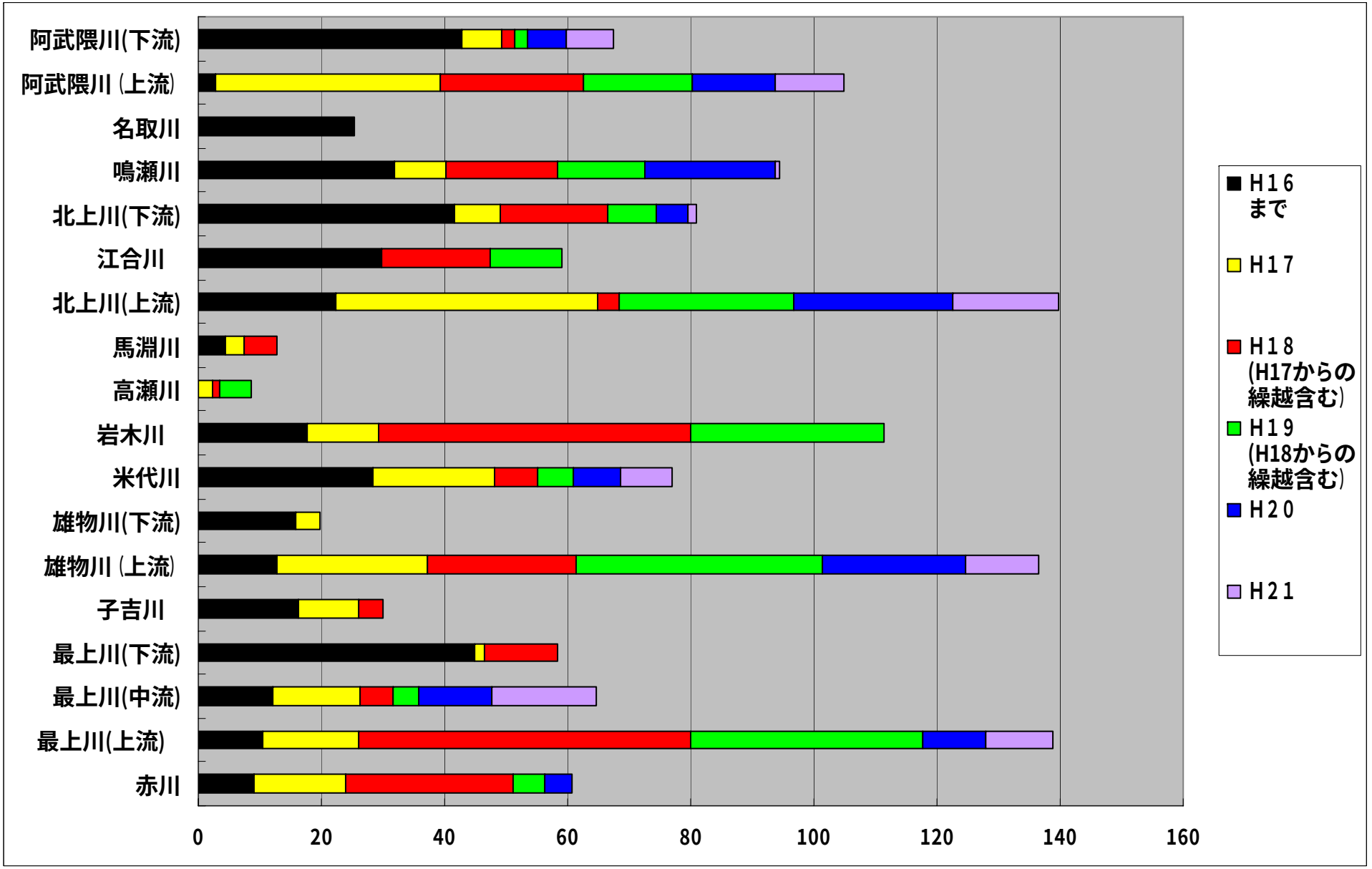
水系名	点検が必要な区間 A (km)	点検済み区間 B (km)	必要区間に対する割合 B/A	照査基準を満足する区間 C (km)	堤防強化が必要な区間 D (km)	点検済み区間に対する割合 D/B
阿武隈川（あぶくまがわ）	172.3	114.0	66%	41.5	72.4	64%
阿武隈川下流（アブクマガワ カリュウ）	67.4	51.3	76%	21.8	29.5	57%
阿武隈川上流（アブクマガワ ジョウリュ）	104.9	53.4	51%	17.4	35.9	67%
名取川（なとりがわ）	25.4	25.4	100%	9.3	16.0	63%
鳴瀬川（なるせがわ）	94.4	58.3	62%	34.7	23.5	40%
北上川（きたかみがわ）	279.6	182.2	65%	138.6	43.7	24%
北上川下流（キタカミガワ カリュウ）	139.9	113.9	81%	81.0	32.9	29%
北上川上流（キタカミガワ ジョウリュ）	139.7	68.4	49%	57.6	10.8	16%
馬淵川（まぶちかわ）	12.7	12.7	100%	8.0	4.8	37%
高瀬川（たかせがわ）	8.6	3.5	41%	3.5	0.0	0%
岩木川（いわきがわ）	111.4	79.9	72%	55.8	24.1	30%
米代川（よねしろがわ）	77.0	55.0	71%	27.1	27.9	51%
雄物川（おものがわ）	156.3	79.6	51%	64.9	14.7	18%
子吉川（こよしがわ）	29.9	29.9	100%	15.1	14.8	49%
最上川（もがみがわ）	261.7	170.2	65%	96.9	73.3	43%
赤川（あかかわ）	60.8	51.1	84%	34.3	16.7	33%
東北地方整備局計	1290.0	861.6	67%	529.7	331.9	39%

河川別堤防詳細点検結果（平成１８年度末）



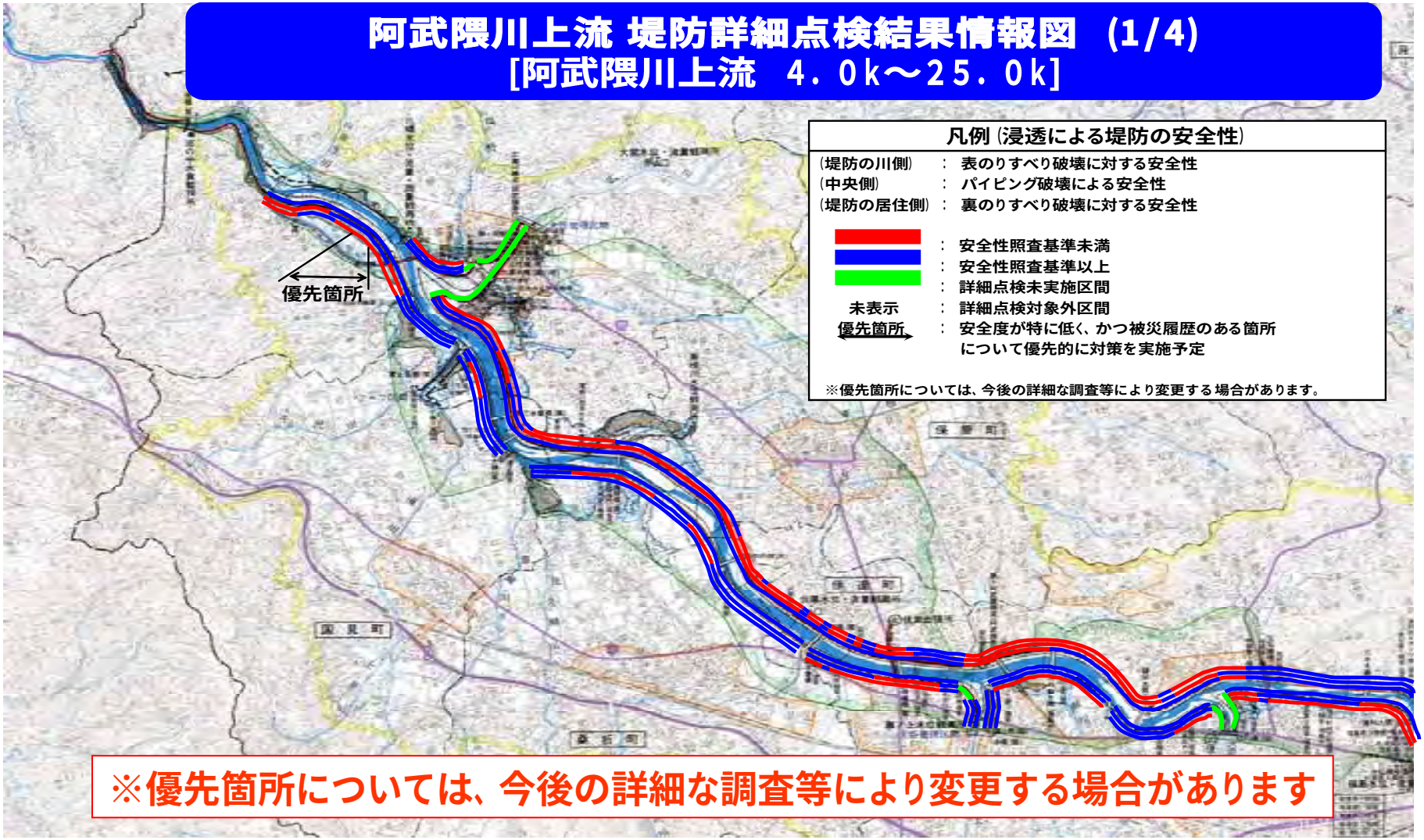
平成１９年３月現在で６７％が完了

河川別堤防詳細点検実施状況



平成２１年度までに全区間の詳細点検を完了します。

河川別堤防詳細点検結果情報図（例）



東北地方整備局管内の情報図はこちら

http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/forefront/syousaitenken/